

## 第 55 回中央労働講座に参加して

全港湾名古屋支部 執行委員 赤木 敬

名古屋支部執行委員の赤木です。

第 54 回の労働講座も出席させて頂きましたので 2 回連続での参加となります。

初日に鈴木龍一副委員長より、組織運営というテーマで講義をして頂きました。組合が組合員に提供できるメリットとは何か、組合の役割と必要性について再確認し、最終的には組合幹部としてどうあるべきか、リーダーに必要な資質などの話までして頂きました。どの部分も詳しく言語化されていて鈴木副委員長の考える理想的な組織運営についてよく理解できたように思います。

しかしグループ討論では若者を中心に組合離れが進んでいるという話が多く上がりました。新規組合員が減ること、現組合員の関心が無くなることは、組織を運営していく上で致命的な問題ですが、どの地域でも年々進んでいるようで、理想とは程遠い現実にグループ全員で頭を悩ませました。組合離れを防ぐためにはどうすべきか、各支部での対策とその結果や、中央の執行部の方々の考えなどもっと時間をかけて聞いてみたいと感じました。

第二講義は鈴木誠一委員長より、全国港湾の成り立ちというテーマで講義をして頂きました。

戦争直後から現在に至るまでの大きな時代の流れを知ることで、先人たちの努力や自分たちが属する組織の規模とその価値を実感しました。グループ討論においても組織の過去を知ることは重要であると話し合い、組合が存在することへの感謝や、これから組織を維持・発展させる必要性を再確認できる良い機会となりました。

第三講義は畠山副委員長より、労働基準法をテーマに講義をして頂きました。問題形式の資料を使つての講義でしたが、賃金や労働条件について勘違いしやすい部分を出題にしたり、事例を出して参加者に考える時間を作る講義は緊張もありましたが、解説も含めてとても楽しく聞かせて頂いたことを覚えています。資料は持ち帰り、地元でも利用させて頂きました。

労働講座は全港湾が発展していく上で重要な役割があると感じております。1 回参加して終わりではなく、2 回 3 回と受講し参加者が地元で、労働講座の内容を話せるようになるまで、参加し続けることでより広い範囲で執行役員のレベルアップが期待出来るのではないかと感じています。レクリエーションでの交流も含めて参加して良かったと思います。今後も機会があれば参加させて頂きたいと思います、ありがとうございました。